

3月23日は世界気象デー

今年のテーマは、「人と国土を守るため -世界気象監視計画50年-」

世界気象デーとは

世界気象機関（WMO）は、1950年（昭和25年）3月23日に世界気象機関条約が発効したことを記念し、毎年3月23日を世界気象デーとしてキャンペーンテーマを設け、気象業務への国際的な理解の促進に努めています。

今年のキャンペーンテーマは、

「人と国土を守るため -世界気象監視計画50年-^{*}」です。

^{*}原文は “Watching the weather to protect life and property
- Celebrating 50 Years of World Weather Watch”

WMOと世界気象監視（WWW：World Weather Watch）計画

自然災害から人や国土を守るための気象の監視や警報の発表等を的確に行うには、統一された方法による大気や海洋の観測、データの迅速な交換、高度なデータ処理に基づく気象情報の作成を効率的かつ確実に行うことが必要です。このため、WMOは1963年、世界的に調和した気象観測網の構築を核とする「世界気象監視（WWW）計画」を立案しました。計画開始以来現在まで、世界的に標準化された地上・高層気象観測、地球全体をカバーする気象衛星観測網、データ処理・交換のためのネットワークの構築、船舶の協力を得た海上のデータ収集、自動気象観測装置の展開、数値予報技術の発展など、その基本構想は国際的な協力の推進や必要な科学技術の進展とともに着実に実現されています。

気象庁も、アジアにおける中核的な気象機関としてこのWWW計画に積極的に参画し、同計画の下、観測・解析・予測技術の開発や、よりの確な防災情報の作成・発表等に努めてきました。

2013年はWWW計画の開始から50年を迎えます。今年のキャンペーンテーマは、WMO及び各国気象機関の活動の基盤となるWWW計画の重要性を改めて思い起こすために選定されたものです。

世界気象機関 (World Meteorological Organization : WMO) の概要

設立目的 気象業務に関する国際的な調整・標準化・改善や、気象情報
の交換促進

設立 1950 年 (昭和 25 年) 3 月 23 日

事務局所在地 スイス・ジュネーブ

加盟構成員 185 か国・6 地域
(我が国は 1953 年 (昭和 28 年) に加盟)

ホームページ <http://www.wmo.int/>

問い合わせ先： 総務部企画課国際室
電話： 03-3212-8341 (内線 2267)